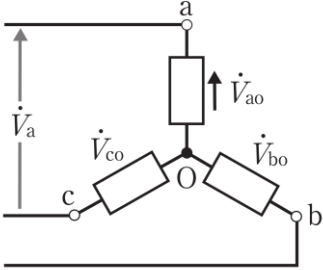
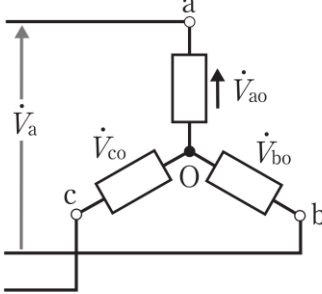
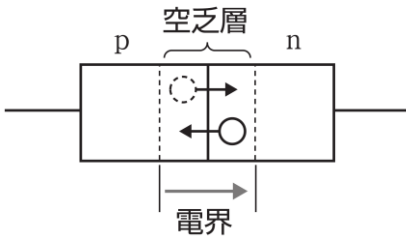
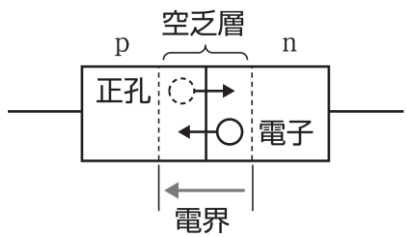
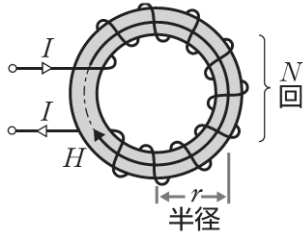
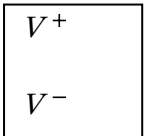
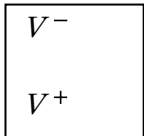


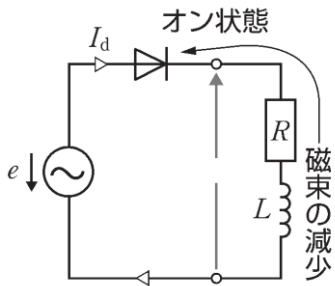
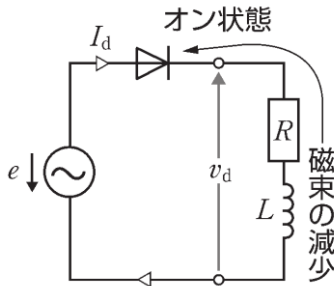
正誤表

「ポケット版 要点整理 電験三種 4 科目」(ISBN 978-4-274-50586-7)

●平成 29 年 2 月 10 日第 1 版第 1 刷

頁・該当箇所	誤	正
p.8 下から 8~9 行目	コイル, リアクタンス 電流を流すと磁気が発生する要素をリアクタンスといい, ...	コイル, インダクタンス 電流を流すと磁気が発生する要素をインダクタンスといい, ...
p.57 上から 5 行目	...となり, \dot{I}_a は \dot{I}_{ab} より $\pi/6$ 遅れる. また,	...となり, \dot{I}_a は \dot{I}_{ba} より $\pi/6$ 遅れる. また,
p.57 確認 1 左図		
p.58 上から 2 行目	ab 間の相電流は, $I_p = \frac{1}{\sqrt{3}} I_a$	ab 間の相電流は, $I_{ab} = \frac{1}{\sqrt{3}} I_a$
p.73 左図中の電 圧の関係式	$\underline{I}_M = V_T$	$\underline{V}_M = V_T$
p.73 表の 5 行目	適 性 R が大きいとき R が小さいとき	適 性 R が小さいとき R が大きいとき
p.84 下図		

頁・該当箇所	誤	正
p.30 上から 13 行 目	各コンデンサの電圧が同じ理由	各コンデンサの電荷が同じ理由
p.38 上から 4～6 行目	<p>円筒状に巻いたコイル(ソレノイド) 半径 r [m] で円筒状に N 回巻いたコイルに電流 I [A] を流したとき、コイル中心の磁界の強さは、</p>	<p>円筒状に巻いたコイル(ソレノイド) 長さ l [m]、巻数 N の十分に長いソレノイドに電流 I [A] を流したとき、ソレノイド内部の磁界の強さは、</p> $H = \frac{NI}{l} = nI [\text{A/m}]$ <p>ここで、$n = N/l$ [1/m] は 1m あたりの巻数である。</p> <p>環状コイル (環状ソレノイド) 半径 r [m] の環状鉄心に巻数 N でコイルを巻いた環状ソレノイドに電流 I [A] を流したとき、ソレノイド内部の磁界の強さは、</p> 
p.38 上図	図中の r 及び Φ は不要	
P.38 下から 3 行目	確認 1 磁気抵抗は鉄心の長さに反比例し、断面積に比例する。	確認 1 磁気抵抗は鉄心の長さに比例し、断面積に、反比例する。
p.49 上から 7～8 行目	確認 3 RL 並列回路の…, RC 並列回路の…	確認 3 RL 直列回路の…, RC 直列回路の…
p.77 上から 14 行 目	$E_x = \dots = 1.8 [\Omega]$	$E_x = \dots = 1.8 [\text{V}]$
p.83 上から 17～ 18 行目	4 価の半導体 (ヒ素, リン, アンチモンなど) に 5 価の半導体 (ケイ素 (シリコン), ゲルマニウムなど) を不純物として加えてつくる。	4 価の半導体 (ケイ素 (シリコン), ゲルマニウムなど) に 5 価の半導体 (ヒ素, リン, アンチモンなど) を不純物として加えてつくる。
p.91 確認 図中の電圧		

p.91 下から 2~3 行目	…によらず, $V_o = -\frac{R_1}{R_2}V_i$ が成り立ち, 電圧増 幅度 $A_v = \left \frac{V_o}{V_i} \right = \frac{R_1}{R_2}$ となる. なお, …	…によらず, $V_o = -\frac{R_2}{R_1}V_i$ が成り立ち, 電圧増 幅度 $A_v = \left \frac{V_o}{V_i} \right = \frac{R_2}{R_1}$ となる. なお, …
p.100 上から 5行目	185.5 [kW・h] で運転している. …	185.5 [kW] で運転している. …
p.100 上から 8行目	…出力 $P_G = 1\,000$ [kW・h] で運転しており,	…出力 $P_G = 1\,000$ [kW] で運転しており,
p.102 下から 2~5 行目	蒸気消費率 $Q = \frac{Z(i_s - i_c)}{P_G} [\text{kJ}/(\text{kW} \cdot \text{h})]$ 1 kW・h の発電に要する蒸気の熱量で, 発電量 から蒸気使用量をみるときに役立つ. ここで, …, i_s [kJ・kg] と i_c [kJ・kg] は…	タービン熱消費率 $Q = \frac{Z(i_s - i_e)}{P_G} [\text{kJ}/(\text{kW} \cdot \text{h})]$ 1 kW・h の発電に要するタービンの熱消費量で ある. ここで, …, i_s [kJ・kg] と i_e [kJ・kg] は…
p.104 上図中の機 器名	燃料器	燃焼器
p.121 上から 15 行 目	= <u>32</u> [pF]	= <u>3.2</u> [pF]
p.121 下から 8行目	抵抗接地: $I_g \frac{E}{R_g + \frac{1}{\frac{1}{R_N} + j3\omega C}} \doteq \dots$	抵抗接地: $I_g \frac{E}{R_g + \frac{1}{\frac{1}{R_N} + j3\omega C}} \doteq \dots$
p.201 左上図中の 端子間電圧		
p.207 上から 1行目	過度応答を示す式を…	過渡応答を示す式を…
p.212 上から 4行目	<u>出力装置</u> の 5 大要素からなる. …	<u>記憶装置</u> の 5 大要素からなる. …
p.261 下から 11 行 目	…ので, (3)案を選択する.	…ので, (4)案を選択する.
p.262	…, 18~24 時でそれぞれ $P_{AM} = \underline{600}$ [kW],	…, 18~24 時でそれぞれ $P_{AM} = \underline{100}$ [kW],

上から 13～ 14 行目	$P_{BM}=\underline{100}$ [kW] となるので, …	$P_{BM}=\underline{600}$ [kW] となるので, …
------------------	--	--

平成 30 年 7 月 17 日, オーム社